

5 チューリップの球根種皮から分離される病原菌の種類

ねらいと成果

神戸市北区でチューリップの切り花生産が41700㎡で行われているが、最近、貯蔵中と立毛中に球根腐敗症が多発生し、大きな生産阻害要因となっている。そこで原因究明のため、球根から病原菌の分離を試みたところ、病原性のある *Penicillium*, *Fusarium*, *Rhizopus* の3種類が検出された。

内容

富山県産とオランダ産の球根の種皮から平板希釈法で微生物の分離を行った。

その結果、富山県産の「アルビノ」で *Penicillium*, *Fusarium*, *Rhizopus* が、オランダ産の「ウエストポイント」、「バレリーナ」、「ジャクリーン」からは *Penicillium*, *Fusarium* が、「ピクチャー」、「フラミンゴ」、「モンテカルロ」からは *Penicillium* のみが検出された(表)。

検出された菌株を球根に接種したところ、程度の差はあったがいずれも病原性を示した。

今後の方針

立毛中の球根腐敗症の発生原因として、栽培土壌からの感染の有無を検討するとともに、効果的な球根消毒法及び土壌消毒法を確立する。

高木 廣(北部農技・農業部、前病虫害防除所)

表 チューリップ球根種皮から分離された病原菌の種類と量 (F: $\times 10^3$ CFU/g, P: $\times 10^4$ CFU/g)

病原菌	品 種						
	アルビノ	ウエストポイント	バレリーナ	ジャクリーン	ピクチャー	フラミンゴ	モンテカルロ
F	0.1	14.0	0.2	1.5	—	—	—
P	2.3	31.2	3.3	10.5	56.6	24.9	7.8
R	+	—	—	—	—	—	—

F: *Fusarium*, P: *Penicillium*, R: *Rhizopus*

+ : 菌の分離有り — : 菌の分離無し